

景気動向指数 平成 25 年 8 月分（速報）の概要

8月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：106.5、一致指数：107.6、遅行指数：112.8となった。（注）

先行指数は、前月と比較して1.4ポイント下降し、2ヶ月ぶりの下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.30ポイント下降し、9ヶ月ぶりの下降、7ヶ月後方移動平均は0.44ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.1ポイント下降し、2ヶ月ぶりの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.23ポイント上昇し、9ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.65ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.0ポイント差の保合いとなった。3ヶ月後方移動平均は0.50ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.67ポイント上昇し、11ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

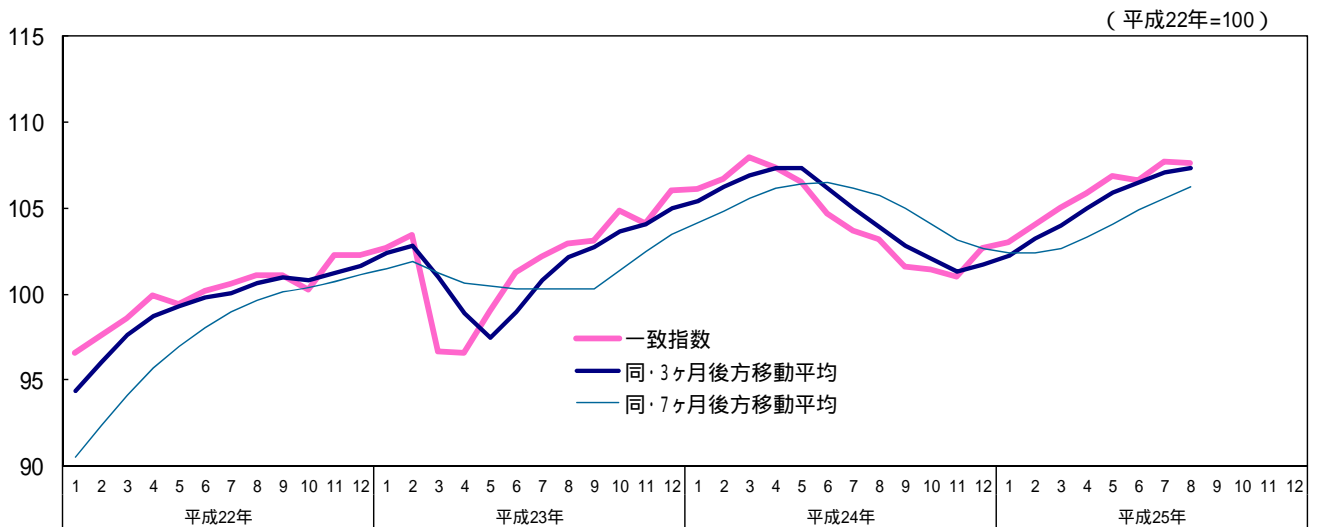
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C4：耐久消費財出荷指数	0.14	C5：所定外労働時間指数（調査産業計）	-0.17
C7：商業販売額（小売業）（前年同月比）	0.12	C6：投資財出荷指数（除輸送機械）	-0.10
C10：中小企業出荷指数（製造業）	0.10	C1：生産指数（鉱工業）	-0.09
C11：有効求人倍率（除学卒）	0.09	C8：商業販売額（卸売業）（前年同月比）	-0.09
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.07
		C3：大口電力使用量	-0.03
C9：営業利益（全産業）	0.01		

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。